

# 福知山地方本部

## 緊急支部分会代表者会議を開催 春闘妥結内容を確認 全組合員が妥結内容の共有を

### 春闘要求は 賃金と生活

4月4日(日)市民交流プラザふくちやまにおいて、緊急支部分会・部会代表者会議を開催しました。中央本部より松原副委員長と池上賃金対策部長が出席され、2021春闘妥結内容の説明を受けました。



野垣委員長

2021春闘での取り組みに感謝する。責任組合として会社の存続や将来を考えない無責任な要求は出来ない。独自に経営状況を定め会社存続と雇用を守る必要がある。鉄道は長年働く事で技術が受け継がれる。



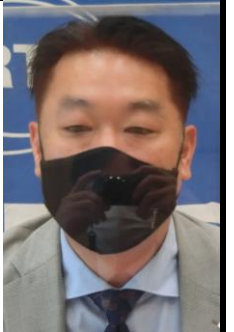
中央本部  
松原副委員長

会社存続の危機に直面しており、業績は回復していない。基準

離職防止に取り組む必要がある。赤字計上は確定の中で要求実現のため議論が重要だった。JR西日本グループ中期経営計画2022の見直しについては、様々な施策が急激に行われてきているが、地に足をつけて実施するよう会社に要望している。誇りを持って働ける環境にすべく、チャレンジ機能を果たすべく施策対応を行っている。

昇給は3月17日に実施を確認した状況であった。社員に対し無利子での融資制度が検討されている。年末手当2.2箇月を取るが大切だ。経営陣や管理職の減額は実施されている。出向については説明を受けている。出向先など不明だがしっかりと協議していく。

安全については重大事象に繋がりにかからない事象が発生している。チャレンジ機能を働かせ安全確立に取り組んでいく。



中央本部  
池上賃金  
対策部長

2021春闘は「雇用と生活を守る」ことを前提に取り組んだ。○基準昇給の実施で平均賃金を見ると、平均して5,700円の賃金改善となる。

○期末手当は短期的に判断を行う必要がある。年間臨給を要求したが現在の状況として夏季1.3箇月の判断となった。年末手当は4月以降の収入状況が大切な判断材料となる。

○特別一時金については鉄道が1日も休まず運行している労苦に対するものだ。契約やシニア社員との金額の差は精励及び精勤手当は減額しておらず、社員は出向や見直し施策への協力への負担があることも考えて金額に差が出ている。

○業務に起因して新型コロナウイルス感染症勤務の取扱いは、福知山地本から強い要望があり、一定の成果があった。業務に起因なので、拘束時間も含んでの整理である。濃厚接触者や要観察者となった場合の賃金は100/100となる。

○初任給調整手当は、昨年3,000円で基準昇給は2,700円で差額を解消している。

○通勤手当に関して、定期乗車券の確認は基本的には実施しない。現行の回数券所持者は払戻しせず、次回購入時からの対応とする。事務手続きの簡素化になる。

○口頭表明の確認事項は、テレワーク環境の推進に向け、会社で使用するPC持出しとワイズネット使用の環境整備の検討。フレックスの現業機関への拡大検討。工務車両関係の夜間作業の労務管理方法について課題認識。融資制度は

一定の制度確立を4〜5月には説明を受ける予定。出向は社員の身になるものとする必要があると考えており、地方で協議を行いながら進める。

### 質疑応答



福知山  
支部分会  
山田委員長

●基準昇給の実施に感謝する。3月29日の会社回答は妥結前に報道されていた。経緯の説明を。

●会社は3月29日に回答し、各労組持ち帰り検討することとなった。会社回答のオープンな17時30分で確認し、各労組への回答としてプレスを実施している。



福知山  
支部分会  
山口委員長

●組合員はコスト削減に向けて努力している。経営陣はどの様な努力をしているのか分かることがあれば教えて頂きたい。

●経営陣の報酬は大幅な削減となっており、管理職等も賃金の減額がされている。プロジェクト中止や延期の調整をしている。幹部は社員のコスト削減の努力を認識している。



福知山  
支部分会  
山田委員長

●年末手当は2.2箇月と確保しに行くのか、生活防衛ラインとして1.5箇月を取りに交渉を進めるのか、どのような意識で考えているのか。

●修繕費が縮小しているが、JR北海道の修繕費削減での検査データ改ざんで脱線事故もあった。働き方にも大きな影響があるので、議論経過を教えられたい。

●安全に関する事項は最優先で投資決定され、削減は考えていない。次年度以降に実施可能な工事の変更をし予算を減らしている。

●一時金と年末手当は分けて考えるべき。分けて交渉されたい。

●一時金と年末手当は別という考えで年間3.5箇月要求は変わらない。2.2箇月を取りに行きたい。

●現場の出向の話があるが、新入社員が不安を抱かないような対応と各箇所での丁寧な説明を求めたい。他企業では出向の話から自殺者も出ている。そのような組合員が出ないよう対応されたい。

●これまでの業務が活かして今後でも活かせる企業の選定を行うよう整理している。企業は支社で選定し地本で納得できれば本部本社間で覚書を締結する。地方において疑義があれば締結しない。

●ワンマン列車の乗車が増えている中、感染の不安を抱えている。地域特情もあるが統一した対応を。

●会社と引き続き協議する。